

令和2年度 県立試験研究機関の研究テーマ外部評価

●研究テーマ外部評価結果一覧

試験研究機関名	開催日	評価の種類	研究テーマ名	研究期間	評価
環境保健研究センター	令和2年8月27日	事前	レジオネラ属菌の迅速検査法の検討	令和3～5年度	A
	令和2年10月2日	事後	緊急時に応用可能な大気汚染物質簡易測定技術の開発	平成29～令和元年度	A
産業技術センター	令和2年9月10日	中間	スマートファクトリー活用等事業	平成29～令和4年度	A
	令和2年10月5日	事後	メタボローム解析技術を用いた県産ニンニクの系統選抜	平成29～令和元年度	A
		事後	香川県産オリーブからの醸造用酵母の探索	平成28～30年度	A
農業試験場	令和2年8月26日 令和2年10月26日	中間	DNAマーカー利用による育種技術の開発	平成30～令和4年度	A
畜産試験場	令和2年9月25日	事前	高品質型オリーブ豚の造成	令和3～6年度	A
	令和2年10月20日	事前	出生子牛へのD-ブシコース給与によるIgG吸収促進効果について	令和3～4年度	A
		事後	希少糖を配合する鶏用餌給与試験	平成28～29年度	A
水産試験場・赤潮研究所	令和2年9月14日	事前	香川県産魚類の鮮度と冷凍保存に関する研究	令和2～4年度	A
	令和2年9月15日	中間	モニタリングデータを活用した、播磨灘南部香川県海域における麻痺性貝毒リスク管理方法の検討	平成30～令和4年度	A
		中間	アオノリ採苗技術開発量産化試験	平成30～令和3年度	A

【評価基準】

事前評価 A：計画のとおり研究を実施するのが適当 B：計画の内容を条件のとおり変更して実施するのが適当 C：実施する必要はない

中間評価 A：計画のとおり継続するのが適当 B：計画の内容を条件のとおり変更して継続するのが適当 C：研究を中止する

事後評価 A：期待どおりの成果が得られている B：一定の成果が得られている C：成果が得られていない

追跡評価 A：研究成果が期待どおり活用されている B：研究成果は一定の活用がされている C：研究成果が活用されていない

●研究テーマに関する問合せ先

研究機関名	氏名	役職	電話番号
環境保健研究センター	三好	次長	087-825-0400
産業技術センター	佐々原	次長	087-881-3175
農業試験場	北濱	副場長	087-814-7312
畜産試験場	笹田	次長	087-898-1511
水産試験場・赤潮研究所	牧野	副場長	087-843-6511